



海暮らし

理想の一軒家で 田舎暮らしを満喫

2008年に
兵庫県から
1ターン

はそい すずむ
細井 進さん (58歳)
南宇和郡愛南町在住



愛媛県の最南端に位置する愛南町は、黒潮踊る太平洋と宇和海に面した西日本屈指の磯釣りのメッカ。その愛南町で唯一の総合病院である県立南宇和病院の小児科部長として平成20年4月に着任した細井進先生は、趣味の磯釣りで通い慣れた愛南町に理想の住まいを見つけ、奥様と二人で移住を決意されました。

昔から釣りが趣味だった細井先生は、以前勤務されていた兵庫県では満足できる釣り場がなかったことから、いろいろ本を調べるうちに四国へ釣りに来るように。最初は高知に行っていたのですが、知人に連れてきてもらった愛南町で大物がよく釣れたこともあって印象に残っていました。それから休み

を利用して、月に1~2回訪れるようになり、そのうち、定年退職後はこちらに来てもいいかなあと思い始めました。

勤務先の病院まで車でわずか10分の距離にあるお住まいは、豊かな緑に包まれた広い敷地に、四季折々の花が咲く手入れの行き届いた庭と自家菜園が広がる、まさに団塊の世代の田舎暮らしの理想ともいえる環境に恵まれています。

土地を探し始めた当初、地元新聞ではこの地域の不動産情報がほとんど手に入りませんでした。たまたまインターネッ



トで現在のお住まいを見つけました。さっそく下見に訪れたところ、広い庭が気に入り、建物の中に入ることなくその日の内に契約をしました。釣りだけでいろいろな候補地はありましたが、畑もできる理想的な物件が見つかったことが、この地に移住を決めた最大の理由なのだとか。

契約した時点ですぐ移り住む気はなかったものの、月に1~2回庭のメンテナンスに訪れるようになると、広い庭だけ

に、たまに来るだけの手入れではとても追いつかないと感じ始めました。また、ちょうど現在の勤務先のポストに空きがあったこともあって、とんとん拍子で勤務先も決まり、当初考えていた定年後より、早く移住することになりました。

現在は、毎朝6時半に起床して趣味の庭仕事をしてから、目の前に広がる山並みと小鳥のさえずりの中で、家庭菜園で採れた新鮮な野菜を使った朝食を愉しむ心豊かな日々を送っています。

▼手入れの行き届いた庭



▶庭のヤマモモの果実を使ってジャム作りを楽しむ



▲外來の看護師さんにおすすわけするほどの収穫に恵まれた家庭菜園



▲建物のリフォームは、交流のあった釣りチームの大工さんに依頼